

| | | | | |
|---|----------|--|--|--|
| 工 事 番 号 | | 宮沖雨水排水ポンプ場地下タンク補修工事 公共下水道事業 現年 単独 仕 様 書 三原市宮沖一丁目 | | |
| 設計年度 | 令和 3 年度 | | | |
| 施工月日 | 令和 年 月 日 | | | |
| 施工方法 | 請 負 | | | |
| 工事期間 | | | | |
| 工 事 概 要 | | 起 工 理 由 | | |
| 地下タンク容量 φ1,927mm L=7,620mm ・地下タンク内面ライニング工 一式 | | | | |

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市宮沖一丁目 公共下水道事業 宮沖雨水排水ポンプ場地下タンク補修工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和3年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和3年8月広島版)『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

また、『第1編 1-2-12 工事完成検査』に規定する工期の終期日の13日前(工期の終期日の13日前が土曜日、日曜日、祝日等に当たる場合は、その前日)までに工事を完成するとともに、監督員を通じて発注者に対し、工事完成通知書を提出するものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 施工時期・時間の制限

| | |
|-----|-------|
| 時 期 | 全工事期間 |
|-----|-------|

時 間 8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目 地下埋設物

調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。(支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

移設時期 必要に応じて、別途協議するものとする。

提出書類 「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

3 工事間調整

工事受注後、すみやかに各種関連工事施工者等と工事順序・工程調整を実施し、早期着手・早期完成に努めること。また、これらについては、受注者が主体となって協議・調整を行うこと。

第2節 用地

1 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。

調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）

調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況

範囲 別途協議による。

第4節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、

建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m² 以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第 6 節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第 7 節 その他

1 工事用機資材の仮置き

| | |
|------|-------|
| 場 所 | 指定しない |
| 期 間 | 指定しない |
| 保管方法 | 指定しない |

2 法定外の労災保険 の付保

(1) 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

(2) 受注者は、建設工事請負契約約款第 54 条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

(3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一

社)建設業労災互助会,全日本火災共済協同組合連合会,(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で,労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書(令和3年8月)『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては,排出ガス対策型(第2次基準値)以上の建設機械の使用に努めること。

なお,使用する排出ガス対策型建設機械について,基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は,本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また,加入した保険等については,保険証券の写し(保険以外の場合はそれに代わるもの)を監督員に提出すること。

なお,加入に必要な保険料等は,設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い,通常避けることのできない地盤沈下,振動等により建物等に損害等(以下「工事損失」という。)が発生した場合においては,次のとおりとする。

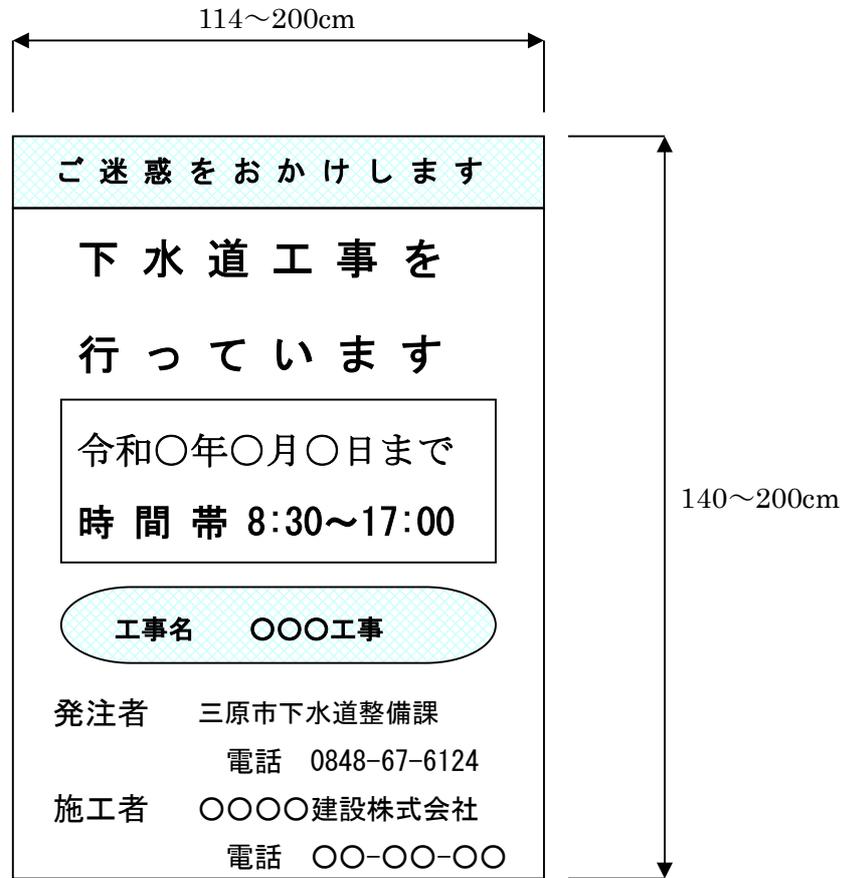
なお,工事損失に伴う補償費用は,設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は,直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は,工事損失に伴う補償費用のうち,請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

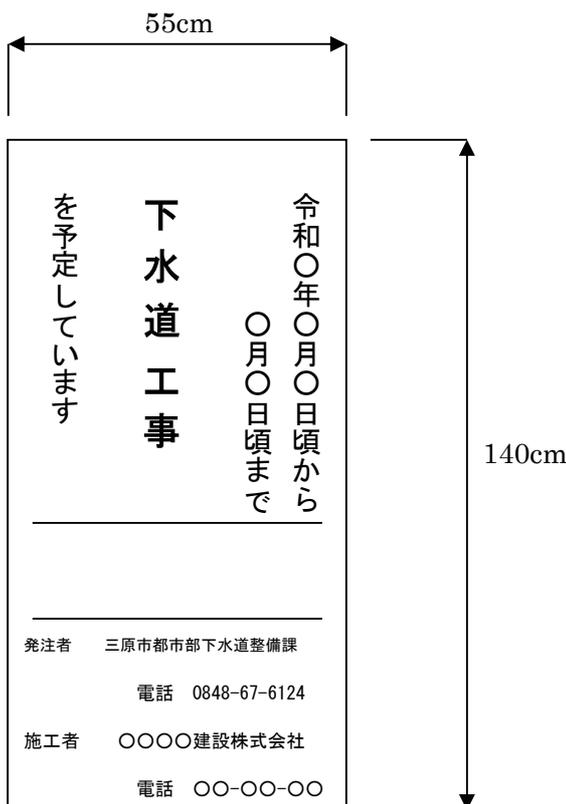
第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民,企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで,苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また,特記仕様書及び設計図書に明示していない事項,または,その内容に疑義が生じた場合は,監督員の指示を受けること。

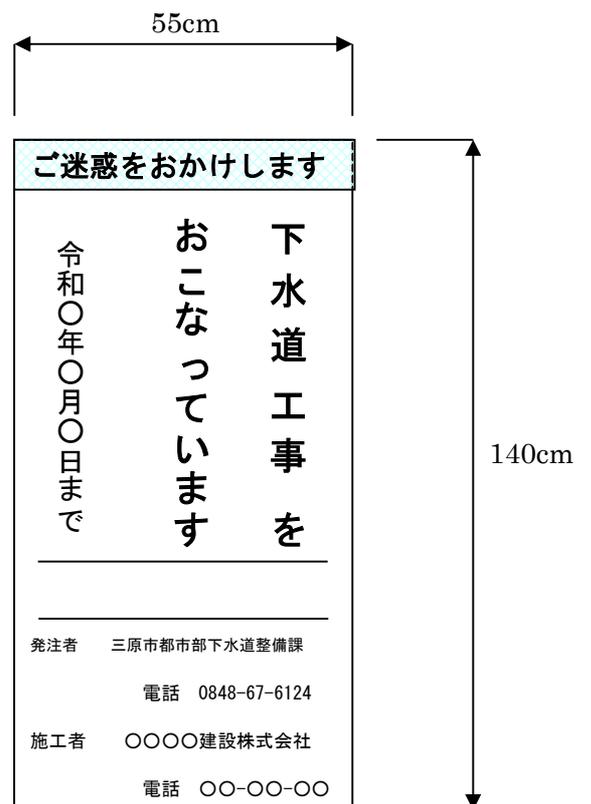
【工事標示板】



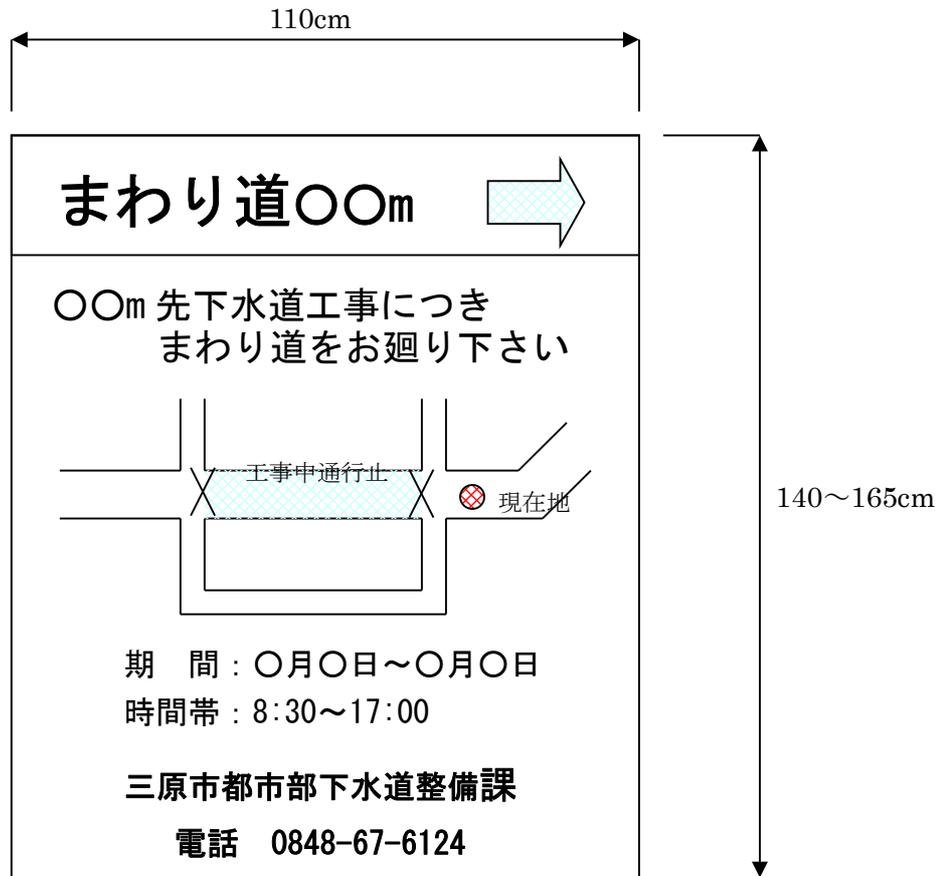
【工事情報看板】



【工事説明看板】

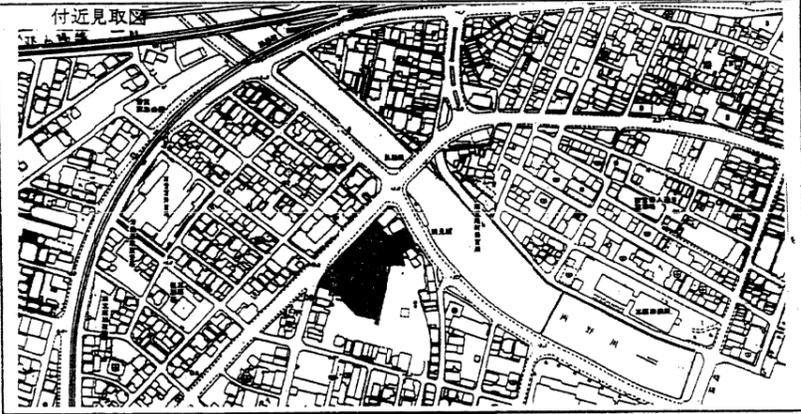


【まわり道案内表示板】

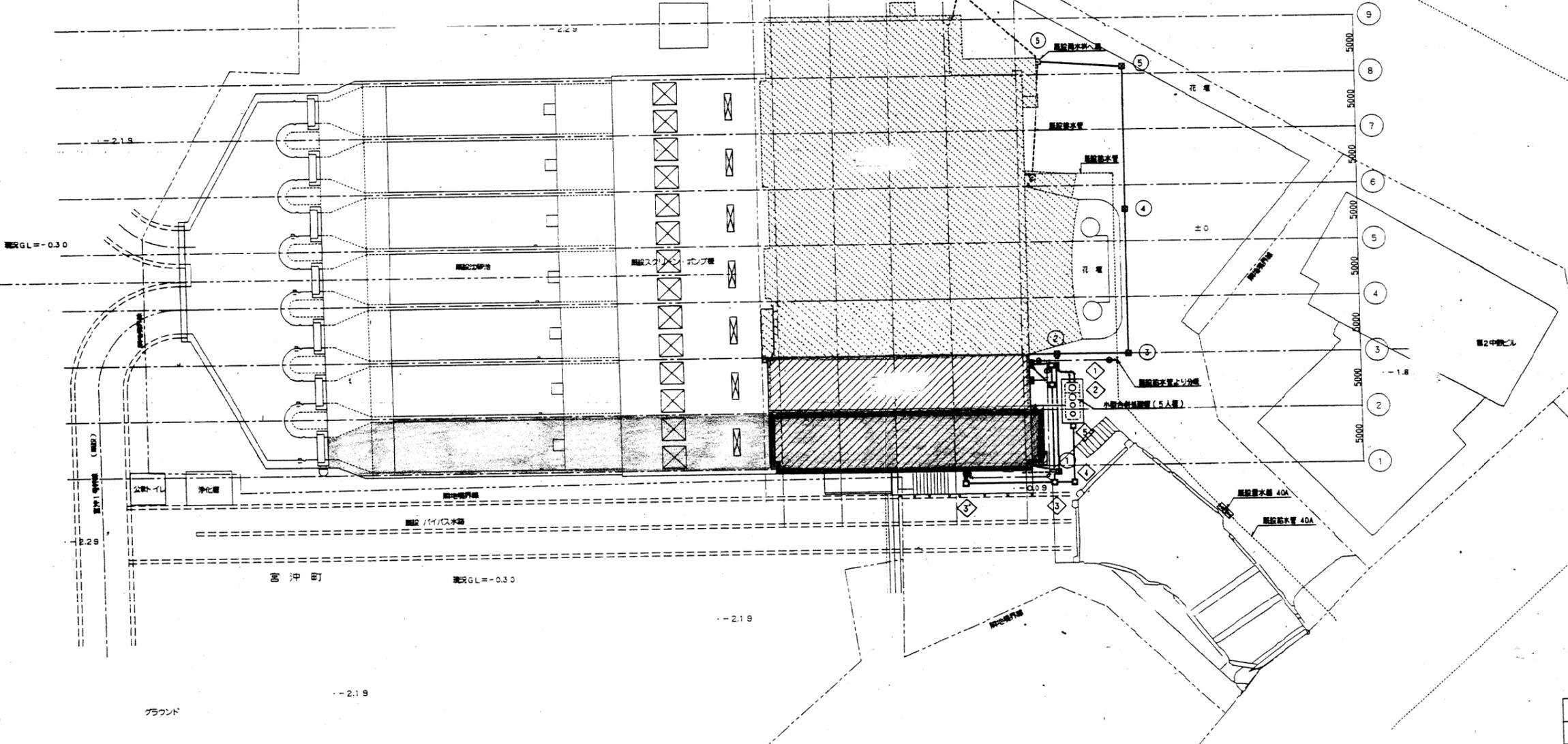


工事数量総括表

| 費目・工種明細など | 規格1・規格2 | 単位 | | 数量 | 備考 |
|--------------------------|--|----|--|----|------|
| 本工事費 | | | | | |
| 処理場・ポンプ場 | | 式 | | 1 | レベル1 |
| 処理場・ポンプ場 | | 式 | | 1 | レベル2 |
| 処理場・ポンプ場 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 燃料タンク内面FRPライニング（膜厚2mm以上） | 不飽和ポリエステル樹脂（ガラス繊維入り） タンク容量 φ1,927mm L=7,620mm | 式 | | 1 | レベル4 |
| **直接工事費** | | | | | |
| 共通仮設費率分 | | | | | |
| **共通仮設費計** | | | | | |
| **純工事費** | | | | | |
| 現場管理費 | | | | | |
| **工事原価** | | | | | |
| 一般管理費率分 | | | | | |
| 一般管理費計 | | | | | |
| **工事価格** | | | | | |
| **消費税相当額** | | | | | |
| **工事費計** | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |



地下タンク
(燃料貯蔵庫)

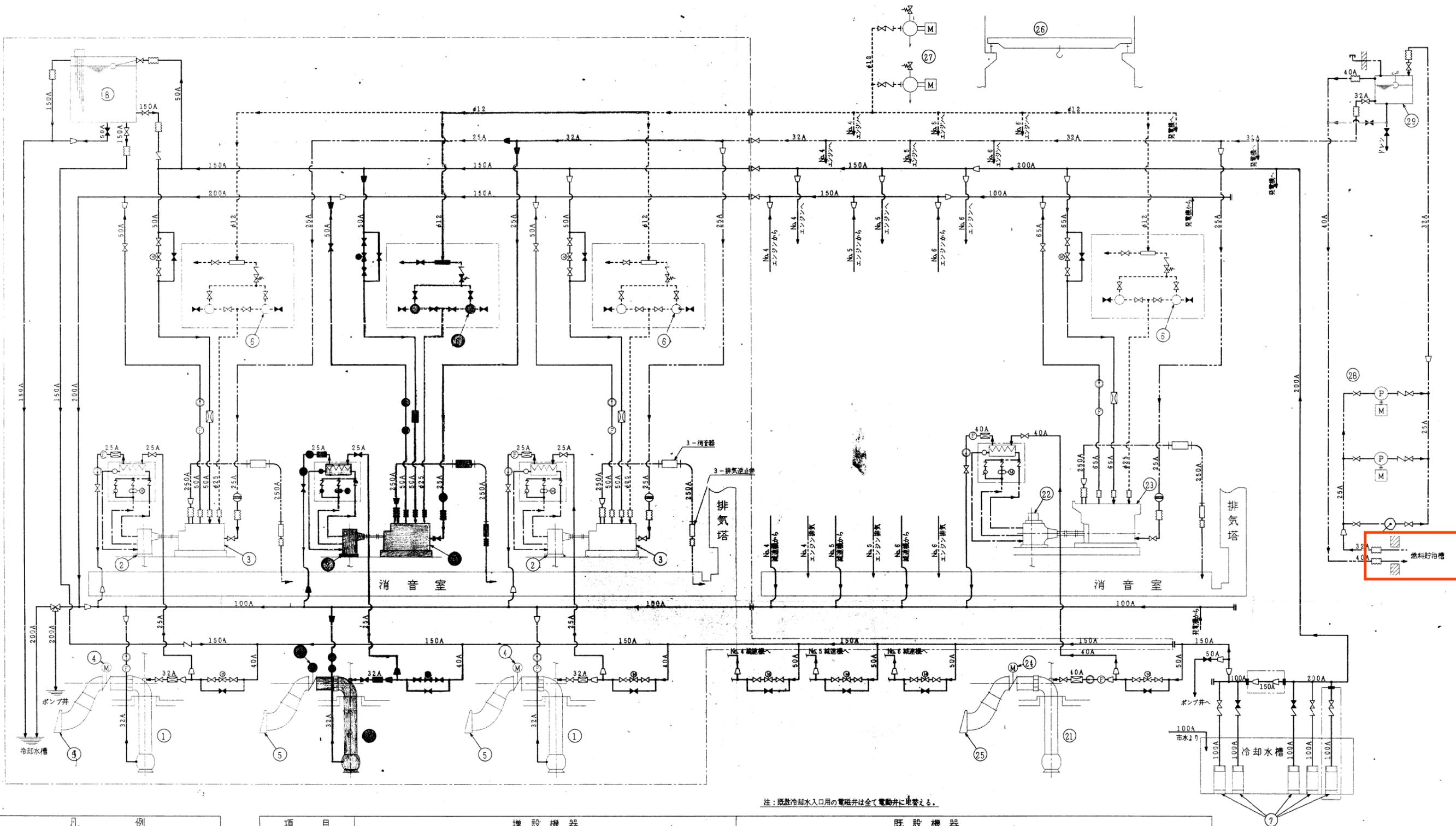


配置図 1/200

※ 屋外配管図は、1階平面図参照

| | | | |
|-----------|--------------------|----|-------|
| 図番 | 面番 | 縮尺 | 1/200 |
| 事業年度 | 平成11年度～平成 年度 | | |
| 工種 | 宮沖下水道 宮沖ポンプ場電気設備工事 | | |
| 種別 | 一般平面図 | 番号 | E-0 |
| 名称 | 三原市下水道事業 | | |
| 工事所 | 三原市宮沖町 | | |
| (図面作成年月日) | | | |
| 三原市 | | | |





注：既設冷却水入口用の電磁弁は全て電動弁に変更する。

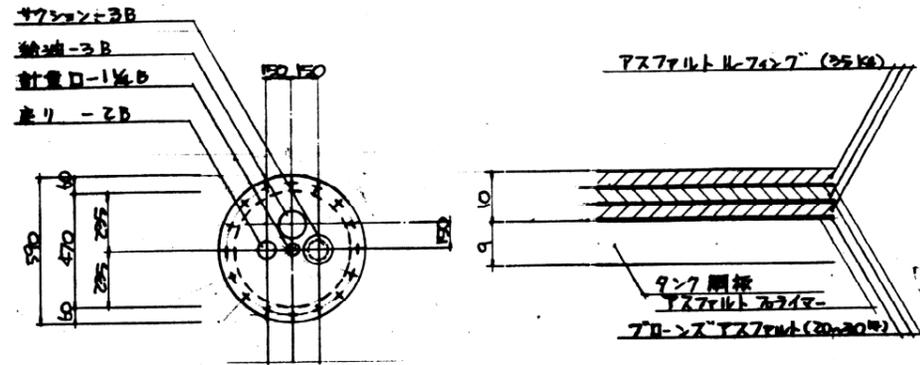
| 凡例 | | 記号 | |
|----|-------|-----|----------|
| 記号 | 名称 | 記号 | 名称 |
| — | 水配管 | —○— | サイトフロー |
| — | 潤滑油配管 | —●— | ストレーナ |
| — | 燃料油配管 | —+— | フランジ、プラグ |
| — | 空気配管 | —⊕— | フロリレー |
| — | 排気管配管 | —⊙— | ポンプ |
| — | 手動弁 | —○— | ボールタップ |
| — | 逆止弁 | —○— | ウイングポンプ |
| — | 安全弁 | —○— | モーター |
| — | 電磁弁 | —○— | 定流量弁 |
| — | レジューサ | —○— | 温調弁 |
| — | 伸縮継手 | —○— | 電動弁 |

| 項目 | 増設機器 | | | | 既設機器 | | | | |
|----|-----------------|----------------|-----------------|------------|-------------------|------------------|-----------------|-------------|--------------|
| | 番号 | 名称 | 形式 | 仕様 | 番号 | 名称 | 形式 | 仕様 | 数量 |
| 番号 | ① | ② | ③ | ④ | ②① | ②② | ②③ | ②④ | ②⑤ |
| 名称 | No.1~3 雨水ポンプ | No.1~3 歯車減速機 | No.1~3 アイゼルエンジン | No.4~7 吐出弁 | No.4~7 雨水ポンプ | No.4~7 歯車減速機 | No.4~7 アイゼルエンジン | No.4~7 吐出弁 | No.4~7 逆流防止弁 |
| 形式 | φ100 立軸斜流ポンプ | 油圧クラッチ付直交歯車形 | 立型271サイクルエンジン | φ200 電動蝶形弁 | φ1350 立軸斜流ポンプ | 油圧クラッチ付直交歯車形 | 立型水冷4サイクルエンジン | φ1350 電動蝶形弁 | φ1650 フラップ弁 |
| 仕様 | 203m³/min×5.6mH | 潤滑油ユニット 1.5kW | 400PS×900rpm | 1.5kW | 256.5m³/min×5.6mH | 潤滑油ユニット 2.2kW | 500PS×900rpm | 2.2kW | |
| 数量 | 全体 3 | 今回 3 | 既設 0 | 3 | 全体 4 | 今回 4 | 既設 0 | 4 | 全体 4 |
| 番号 | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ②⑥ | ②⑦ | ②⑧ | ②⑨ | |
| 名称 | No.1~3 逆流防止弁 | 排気槽 | 冷却水ポンプ | 高架水槽 | 天井クレーン | 空気圧縮機 | 燃料移送ポンプ | 燃料小出槽 | |
| 形式 | φ1500 フラップ弁 | φ100 据置形水中ポンプ | 有効量 7m³ | FRP | 手動式 | 空冷式立型 | φ25×48ℓ/min×25K | 900ℓ | |
| 仕様 | | 1.2m³/min×30mH | 11kW | | 15T/3T | 19.3m³/h×3.7kW/台 | 0.75kW/台 | | |
| 数量 | 全体 3 | 今回 3 | 既設 0 | 7組 | 全体 1 | 今回 1 | 既設 0 | 1 | 全体 1 |

今回範囲

国補 仕様書 第1回変更

| | |
|-----|--------------------------|
| 工事名 | 宮沖下水道 宮沖ポンプ場機械設備工事 (その2) |
| 主 | 主ポンプ設備フローシート 1 M-3 |
| 製 | 三原市 下水道課 |
| 製 | 三原市 下水道課 |



タンク容量計算式

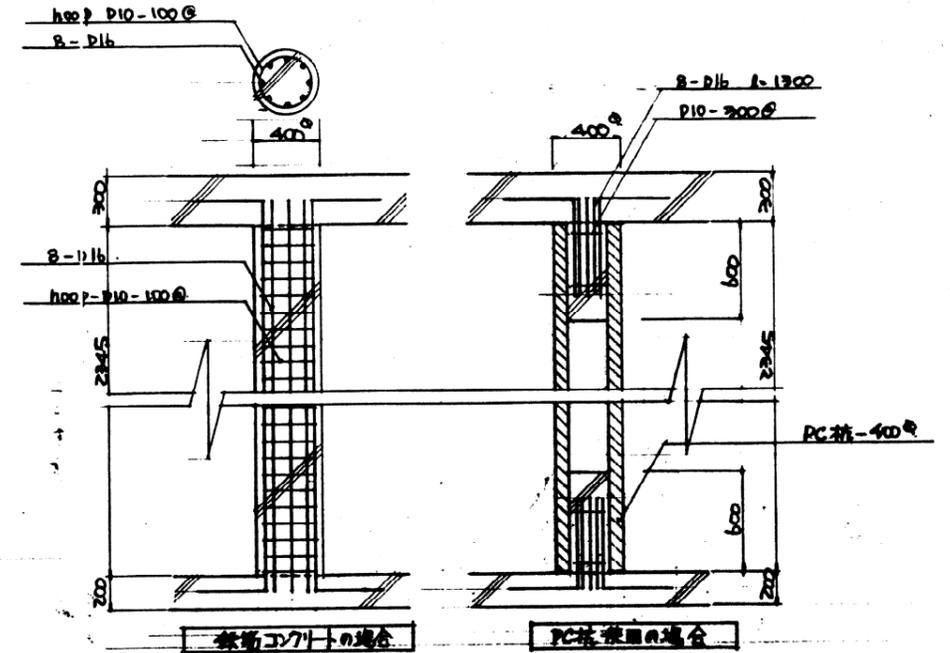
$$V = \frac{\pi D^2}{4} (l + \frac{h_1 + h_2}{3})$$

$$= \frac{3.14 \times 1927^2}{4} \left(7100 + \frac{0.20 + 0.20}{3} \right)$$

$$= 21,202 \text{ KL}$$

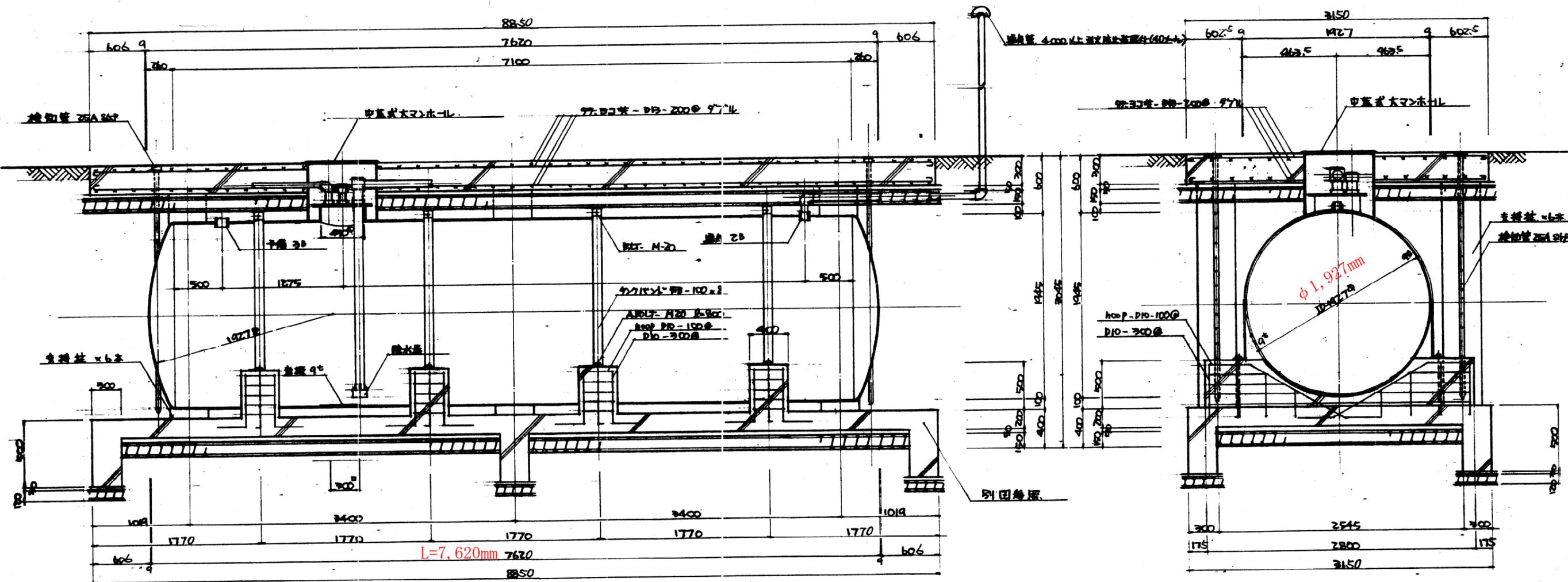
空間容率 (5%~10%)

$$= \frac{21,202 - 20,000}{21,202} \times 100 = 5.67\% \text{ --- O.K}$$



マンホール部詳細図 4/10 タンク埋設工事法図 (指令24条-2)

支柱柱詳細図 4/10



地下タンク埋設詳細図 4/10

《タンク容量》
φ 1,927mm × L7,620mm

《参考資料》

宮沖雨水排水ポンプ場地下タンク補修工事

三原市宮沖一丁目

総括情報表

| | | |
|---|---|--|
| 変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 | 0 59 三原市 00-03. 12. 01(0) 1 公共(一般) | <<凡例>> Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン |
| | 当世代 工種 32 下水道工事(3) 施工地域・工事場所区分 02 市街地(DID補正) 復興補正区分 00 補正なし 週休補正区分 00 補正なし 現場事務所等の貸与区分 00 補正なし ICT補正区分 00 補正なし 冬期補正係数 00 補正なし 緊急工事区分 00 通常工事 0% 前払金支出割合区分 00 補正無し 契約保証区分 03 補正しない | 前世代 |
| 建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。 | | |

本工事費 内訳表

| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|--|----|----|----|----|-----------------------------------|
| 本工事費 | | | | | X1000 |
| 処理場・ポンプ場 | 1 | 式 | | | Y1I06 レベル1 |
| 処理場・ポンプ場 | 1 | 式 | | | Y1I0601 レベル2 |
| 処理場・ポンプ場 | 1 | 式 | | | Y1I060101 レベル3 |
| 燃料タンク内面FRPライニング（膜厚2mm以上） 不飽和ポリエステル樹脂（ガラス繊維入り） タンク容量 φ1,927mm L=7,620mm | 1 | 式 | | | Y1I06010101 レベル4 |
| マンホール開閉作業 | 1 | 式 | | | V0000000010 00 単第0 -0001 表 |
| タンク漏洩事前検査 | 1 | 式 | | | V0000000020 00 単第0 -0002 表 |
| 地下タンク残油抜き取り及び中和作業 | 1 | 式 | | | V0000000030 00 単第0 -0003 表 |
| 内面ライニング工（膜厚2mm以上） 不飽和ポリエステル樹脂（ガラス繊維入り） | 1 | 式 | | | V0000000040 00 単第0 -0004 表 |

本工事費 内訳表

| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|----|----|----|----|-----------------------------------|
| オイル配管連絡工 | 1 | 式 | | | V0000000050 00 単第0 -0005 表 |
| **直接工事費** #0020計=支給品等(材料), 無償貸付 | | | | | |
| 共通仮設费率分 | | | | | Z0019 |
| 計算情報…… 対象額…… 率…… | | | | | |
| **共通仮設費計** | | | | | |
| **純工事費** | | | | | |
| 現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率…… | | | | | |
| **工事原価** | | | | | |
| 一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率…… | | | | | 前払補正率… |

施工単価表

オイル配管連絡工

V0000000050

単第0 -0005 表

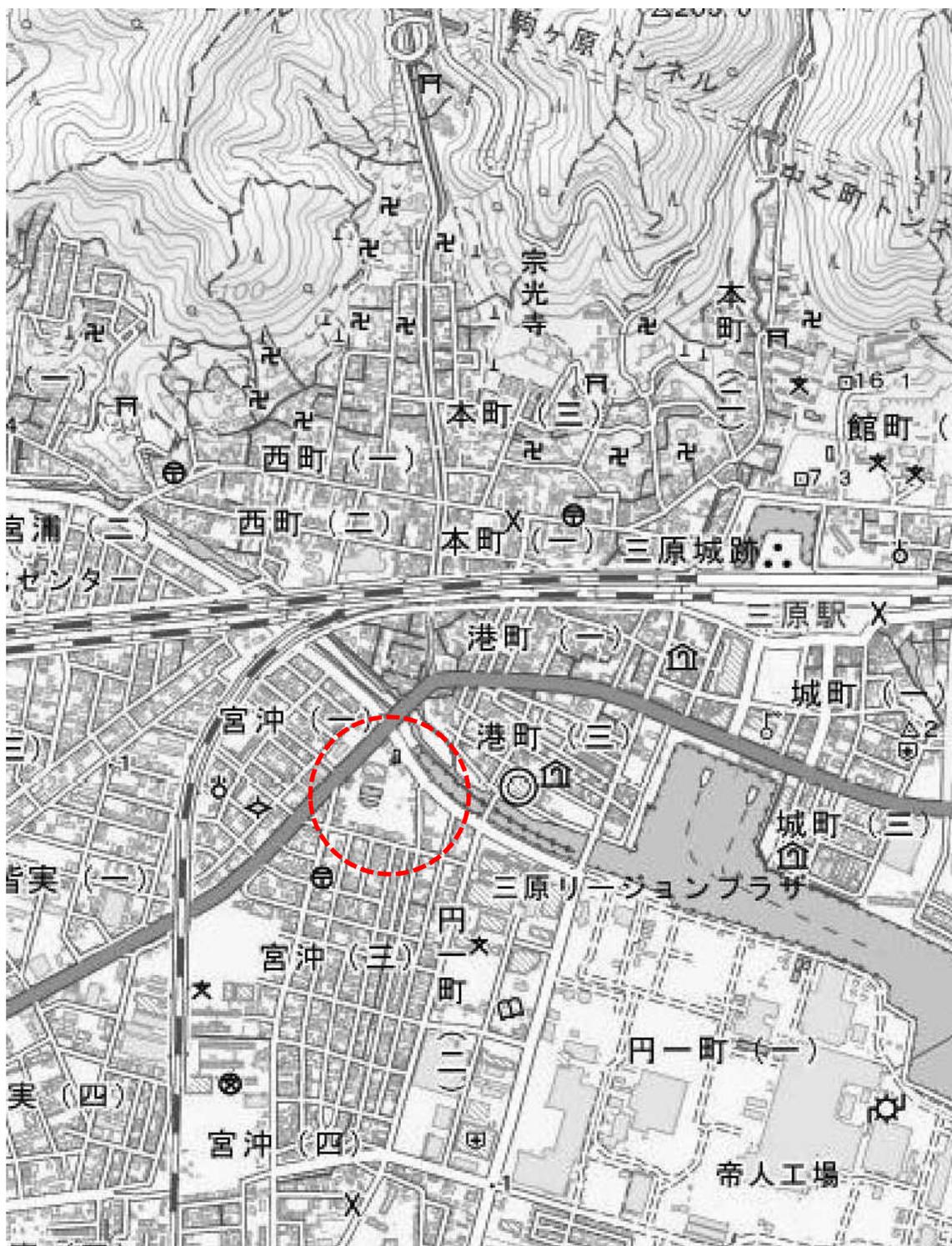
頁0 -0009

1

式 当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|--------------------|----|----|----|----|-----|
| 炭素鋼鋼管 (32A) | 10 | m | | | |
| 継手接合材 | 1 | 式 | | | |
| 支持金物 | 1 | 式 | | | |
| フランジ (10K 32A) | 2 | 枚 | | | |
| チャッキ弁 (JIS10K 25A) | 1 | 個 | | | |
| 消耗品・雑材 | 24 | % | | | #01 |
| 配管工事費 | 1 | 式 | | | |
| *** 単位当たり *** | 1 | 式 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

《位置図》



出典元：国土地理院